

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年5月6日

事業所名 マイ児童デイサービス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	33%	50%	17%		
	2	職員の配置数は適切であるか	17%	33%	50%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	17%	50%	33%		身体に障がいのある方の利用に関しては建物の構造上、段差解消が難しい場所があるが、職員の介助や付き添い等により、日々の活動に支障をきたさないように工夫をしていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	50%	33%	17%		個別、集団プログラムの内容や、利用者児童個々の様子、業務全体の進捗状況等について、定期的に検討会議を開催し、課題等について職員間の共有を図っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	50%	50%	0%		保護者さまからの意向等を把握できるように改善していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	83%	17%	0%	毎月ニュースレターを発行している	更に、日頃の要素をお伝えするだけでなく、様々な情報提供が出来る様にホームページの在り方を考えていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50%	33%	17%		第三者評価制度の活用も検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	83%	17%	0%		今後も開催時間等工夫し、より多くの職員が参加し研鑽を深めることができるよう取り組んでいきます。また、より具体的な療育内容に関する研修を、全体研修とは別に月1回開催していきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	33%	0%		相談支援センターや学校とも連携をして放課後等デイサービス計画が作成されるようにしていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	67%	17%	17%		今後、アセスメントツールの活用を検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	50%	50%	0%		プログラム検討会を週1回開催し、内容について精査するとともに、共有を図っていきます。また職員のスキルアップが図られるように研鑽していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	67%	33%	0%		個別プログラムについては、個々の利用児童のニーズも踏まえて、職員間での情報共有を行いながら、定期的に見直しを図っていきます。更に、集団プログラムについては、週ごとに内容を作成し、プログラム検討会議で精査していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	50%	0%		長期休暇中については、平常のプログラムとは別に、利用児童が興味を持って楽しく取り組める内容で、特別プログラムを設定していきます。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年5月6日

事業所名 マイ児童デイサービス

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	33%	0%		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	67%	33%	0%		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	50%	0%		
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	17%	0%		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	67%	33%	0%		相談支援事業所とも連携し、問題があれば都度対応していきます。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	67%	33%	0%	常にガイドラインに沿っているか、確認をして改善を図っています。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	50%	50%	0%		更に他事業所や相談支援事業所とも積極的に連絡を取り合い、情報交換、情報共有に努めます。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	67%	33%	0%	各学校の年間計画や行事予定を把握して適切に対応している。	利用児童の在籍校には管理職と様々な情報交換を行うとともに、必要に応じて連絡調整を行なっています。今後も続けていきます。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	17%	67%	17%	医療的ケア対象児がいないため	段差などがある為に、医療的ケアが必要な児童の受け入れは現在は行なっていませんが、利用希望があった際には事前に主治医の指示書等の提出をいただいで対応していきたいと思えます。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	33%	67%	0%		小学生を対象(若干の中学生も)としているので、未就学前の状況をお訪ねしていくことも心がけています。特に新規児童の情報について学校、相談支援事業所と情報共有・相互理解を図っています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50%	50%	0%	相談支援と連携している	利用児童の中学校進学に際しては、中学校訪問を行い、利用児童に関する配慮事項等、情報交換を行なっていきます。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%	50%	0%	研修の機会を持って都度相談できる機会を持っている	障がい児の特性や虐待防止の取り組みとして、今後も更に研修計画に取り込んでいきます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50%	50%	0%	独自のメセナ事業としてさんあいイベントで交流している	今後も機会があれば、地域のこども園、学校、諸団体と連携した活動を行なっていきます。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	33%	67%	0%		社会福祉協議会等の地域協議会等には時間の許す限り参加するように努めます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83%	17%	0%		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年5月6日

事業所名 マイ児童デイサービス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	50%	0%	交流の機会を持っている	今年度も「こどもとの関わり方」で講演会、交流会を開催する予定です。また、ペアレント・トレーニングの講習の受講を検討している。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83%	17%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	17%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33%	67%	0%	交流会の機会を持っている	法人イベントの機会に、より多くの保護者交流の場を作りたいと考えています。また、保護者の皆さまにも周知徹底できるように広報していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80%	20%	0%	デイでの活動の様子が判るニュースレターを毎月発行している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%	0%		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40%	60%	0%	春には豊中市主催のイベント、秋には当法人主催のイベントを地域で開催している。	地域に信頼される事業所をめざしています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	40%	60%	0%		各種マニュアルについては、保護者や職員へ引き続き周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	80%	20%	0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80%	20%	0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	60%	40%	0%		研修、職員会議等で人権擁護について学び、利用者の立場に張った療育に努め、生命の危険等以外では、絶対に身体拘束を必要としない療育に努めていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	40%	60%	0%		現在、食物アレルギーを持つ利用児童はいませんが、除去食等が必要な児童の利用が始まれば、適時医師の指示に基づいて対応を行ないます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	40%	40%	20%		ヒヤリハットについては再発防止、大きな事故にならない様に、今後も積極的に事例の集積に努めます。